



埼玉学習センターだより

さいたま

放送大学埼玉学習センター

〒330-0853

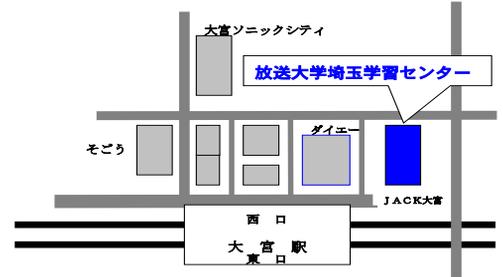
さいたま市大宮区錦町682-2

大宮情報文化センター内(受付:10階)

TEL 048-650-2611

FAX 048-650-2615

<http://www.ouj.ac.jp>



主な内容

- P1. 平成24年度第1学期入学者の集い
- P2. 新任客員教員挨拶 (宇田和子客員教員・箕輪徳二客員教員)
- P3. 新旧事務職員挨拶 (高松事務長・平野事務長・村上総務係員・及川総務係員)
- P4. 生涯学習奨励賞・エッセイコンテスト受賞者
- P5. 再視聴施設について
- P6. サークル紹介
(スポーツ吹矢正鶴会・バランス体操悠々クラブ)
- P7. 教務係からのお知らせ/図書室・視聴学習室からのお知らせ
- P8. 各種お知らせ



ご入学おめでとうございます

平成24年度第1学期入学者の集い・ サークル紹介・履修相談会

桜が満開に咲き誇る4月7日(土)に放送大学埼玉学習センター、平成24年度第1学期入学者の集いが開催されました。今回の式典も、DMIによる案内の効果が大きく、向上心に満ちた入学者で8階講堂の会場は満席になりました。同窓会の指揮の下、行われた学歌斉唱がより力強く館内に響き渡っていました。

菅野所長の挨拶、センターの概要説明に熱心に耳を傾けていた皆さんは、いよいよ学習がスタートする、という実感が沸いてきたのではないのでしょうか。

引き続き行われたサークル紹介では、各団体の手の込んだ展示に入学者は目を凝らし、様々なブースを見学していました。至る所でサークル員への質問が飛び交っていました。

また、履修相談会では、生涯学習奨励賞受賞者の実体験を交えた、説得力のある話に真剣に聞き入り、目標がより明確になった学生の皆さんの、清々しい表情が多く見受けられました。

入学者の集い



菅野所長挨拶



サークル紹介

新任客員教員挨拶



埼玉学習センター客員教員

宇田 和子 専門：イギリス文学・食文化

平成24年4月1日付けで、埼玉学習センター客員教員になりました。所長を補佐して、行事に参加し、面接授業の企画立案を行い、学習相談に当たり、そしてセミナー開催などいたします。

本務校は埼玉大学です。英語・英文学・異文化理解・食文化を担当しています。英語は、一般常識的な範囲なら、一応、何でもこなさなければなりません。英文学は、19世紀イギリスの、ブロンテ3姉妹が専門です。シャーロット・ブロンテ『ジェイン・エア』、エミリー・ブロンテ『嵐が丘』、アン・ブロンテ『アグネス・グレイ』など、小説を読んだり、映画を観たりした方もあるかもしれません。異文化理解の授業に活かすため、世界の多くの国々を体験しようと、75ヶ国近くを歩き回りました。時差は感じません。温度差は40度あっても大丈夫です。

情熱を燃やしてしまうのは食文化です。曾祖母・祖母・母・私・息子と、5世代に渡る料理好き。でも決して、高価な材料を用いたり、美味のみを追求するタイプではありません。身近な素材を使って、お金も時間もそれほどかけず、毎日の食事の手作りを楽しむタイプです。通信教育や土曜・日曜に学校へ行って、製菓衛生師、フードコーディネーター、ティーコーディネーター、アロマセラピスト、ケーキ師範などの資格を取りました。そして、海外の大学で、あるいは埼玉大学では留学生を対象に、日本の食文化を講義したり、日本食の作り方を教えたりしています。文学研究では、食の視点で作品や作家や時代を読み取る「食・文学研究」のスタンスを取っています。

学生の皆様と時間を共にさせていただくこと、そして共に学ばせていただくことを、大きな喜びに感じています。センターへは日曜日に学習相談に来ています。「この英語の訳は？」でも何でも、気楽においで下さい。



埼玉学習センター入学者の集いに出席して

埼玉学習センター客員教員

箕輪 徳二 専門：経営財務論

放送大学埼玉学習センターでの、4月7日(土)の入学者の集いに出席させていただきました。若い人から年配者までの勉学意欲に燃える入学者の熱意に触れ、大変感激いたしました。同窓の先輩たちによる心温まる入学者への勉学サポートメッセージは、放送大学という学びの場での勉学の取り組み方、学生生活を充実させるための的確なアドバイスなど、大変心強く感じました。入学者の皆さんは、いろいろな目的で、放送大学に入学されたことであろうと思います。無理をすることなく、入学の目的を見失うことなく、初志を貫徹されますことをお祈り申し上げます。

ところで、戦後の日本は、敗戦による廃墟から、昭和30～46年まで世界に類を見ない奇跡的な経済成長を遂げ、経済的な豊かさを享受してまいりました。しかし、昭和50年代の低成長経済、60年代後半のバブル経済を経て、平成2年(1991年)バブル経済が崩壊し、平成9年、10年の大手金融機関の経営破綻とその後のデフレーション経済、いわゆる“失われた20年間”の長期にわたるデフレーション経済が続いています。

停滞した国内経済の下で、今、国民が解決すべき課題は、①国・地方財政の累積債務問題、②少子高齢社会問題(出生率低下、社会保障の在り方)、③デフレーション経済問題(雇用機会の喪失)、④東日本の震災復興と震災に強い町作り問題、⑤原子力発電と安全なエネルギー確保問題等です。

戦後の廃墟から立ち上がった私たちの親たちの勤勉な努力でここまで豊さを実現してきました。われわれは、ここでもう一度、こうした諸課題の本質を理解し、過去の成功体験に浸ることなく、グローバル社会での安心・安全な平和な社会の創造への取り組みが求められています。学びを通じて一層の想像力を磨き、課題解決に向けた豊かな創造力を培って欲しいと願っています。

新旧事務職員挨拶

事務長

「お世話になりました。」

高松 義人 (退職)

前事務長の高松です。4月から埼玉大学へ異動となりました。

皆様には3年間大変お世話になりました。埼玉学習センターでは、学生新聞や埼玉フェスタ、全国生涯学習フェスティバルまなびピア2009など皆さんとの楽しい行事・思い出がいっぱいです。また、皆さんの熱心な勉強ぶり、生き生きとした姿には何時も感心させられておりました。学ぶことの素晴らしさ・大切さを身をもって感じた次第です。

これからは、放送大学・埼玉学習センターのサポーターとして陰ながらセンターを応援して行きたいと思えます。

埼玉学習センターの益々の発展と皆様方のご健康を祈念しております。

平野 哲巳 (新任)

この4月から、放送大学埼玉学習センターの事務長に着任しました平野です。

今年は例年になく厳しい寒さが続きましたが、入学者の集いを開催しました7日には、満開の桜がみなさまを迎えてくれました。埼玉学習センターの新学期のスタートと共に祝福してくれたのでしょうか。とても嬉しく思います。

埼玉県の玄関口である大宮駅から歩いて5分と立地も良く、図書室・視聴学習室などの施設設備も大変充実している当センターで、菅野所長を始め、4人の教員(宇田・佐々木・松崎・箕輪客員教員)と13人の職員が、安心して充実した学生生活を送れるよう、みなさまのお手伝いをしていきますので、どうぞよろしく願いいたします。

総務係員

村上 聖果 (退職)

埼玉学習センターに5年間在籍し、この度3月末を以って満期退職となりました。

5年という長いようですが、私にとりましてはあっという間の歳月でした。とりわけ印象深いのは、入職した年に長期に中断していた学園祭が「さいたまフェスタ」として復活し、その後「埼玉フェスタ」と改称され毎年開催されていることです。窓口で学生の皆様方と接する機会はあまりございませんでしたが、エネルギッシュな皆様方の行動力に驚かされ、また多くの事を学ばせていただきました。この紙面をお借りし、学生の皆様方にお礼を申し上げます。

これからも一学生として、引き続き埼玉学習センターにお邪魔いたしますので、覚えていてくださった方は是非お声掛けください。

学生の皆様方のご健康とご活躍、そしてCSC交流会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

及川 ひかり (新任)

4月より、総務係に配属されました及川です。まだまだ慣れない業務も多いですが、放送大学学生の皆様を見習い、日々努力を重ね、仕事に従事していきたいと思っております。

埼玉学習センターの更なる躍進、円滑な運営、そして、より充実した学習環境の実現を目指し、事務局の一員として少しでも貢献できるよう、尽力します。

“千里の道も一歩から”。毎日の積み重ねを大切に。どうぞよろしく願いいたします。

全専攻・コース卒業生〔金剛賞〕2名
古屋 秋雄様 横川 行俊様

〔金賞〕1名
荒井 芳宏様

〔銀賞〕7名

荒川 良雄様 岡里 順子様
加治原 二仁様 関 敬子様
瀧澤 千太郎様 田中 修様
吉澤 弘子様

平成23年度第2学期 生涯学習奨励賞

埼玉学習センターでは、センターにおいて定めた複数の専攻・コースを卒業・修了された方に対し表彰する制度「生涯学習奨励賞」を設けております。

平成23年度第2学期卒業・修了生からは右記のたくさんの方が表彰されました。皆様、誠におめでとうございます。受賞者を代表し、横川様、荒井様の感想を掲載いたします。

自己の存在と出来事

横川 行俊

二十年まえ、たまたま本屋に立ち寄った際、手にした放送大学「現代哲学」教材のなかに「嘘つきのパラドックス」の項目を見つけ、夢中で読み、脳天を激しく突き上げられ全身鳥肌が立ったような気持ちにされたことを思い出しました。このような刺激が動機となり、「人間の探究」コースに入学したわけですが、気が付けば全てのコースを卒業していました。

入学してからは、趣味の領域にも軸足を置き、「絵を描く会」、「物書きの会」、「海外学生交流会」などに参加しながら、いろんな年代の学生達と交流の機会を捉え、自己を見つめ、自己の存在がどのようなことであるのか、考え直すきっかけにもなりました。自分の肉体が存在することが生きている証であり、不在になるまで出会う幾多の出来事の積み重ねであり、自分しか書けない歴史があり、少しは他者にも認知してもらえる歴史でもあると考えます。

そもそも何れの学生であっても、個人の考えと目的と意識があります。実社会に出て直ちに利用できる自然科学の明証性や論理性に目をつけ専攻する者もいれば、広く一般教養を身に付けたい者もいます。また社会の喧騒を離れ、趣味といわれる放送大学で長く「学びとクラブ活動」ができたことは、常に教職員並びに学生達と積極的に交流したことでありと思っています。

膨張を続ける高度資本主義制度に否応なく組み込まれ、無意識のうちに個人の自由が束縛され、規範や制度を押し付けられた閉塞感に満ちた社会であることは誰でもうすうす感じとっていることでしょう。ともすれば自己を見失いがちになり、市場原理に埋没しそうになっている時にこそ、いつでも、どこでも学べる放送大学が、掛け替えのない精神的浄化の場であり、自らの意識の持ちようで自己啓発を実践できる場所ではないかと思えます。

私の仮説

荒井 芳宏

おや？1単位不足で有る。システムWAKABAを見ると確かにそうだ。計算がくるい1学期卒業がのびてしまった。入学の目的は学士取得であった。放送大学との出会いはラジオ番組(授業)であった。

硬い話を延々としているが、飽きる事はなかった。通信教育は経験はあったが、とりえず科目履修生で様子を見、1年後に全科に移行した。あの頃、オウム事件や阪神淡路大震災が起り、政治変動が大きかった。何故、目の前の社会変化が読み取れないのか？単純な思考では分からない。近代社会の基底をなす法学を履修し、理論を頭に入れた。歴史の素養はあったが、入学してみると意外に思い込みで行動していた自分に気が付いた。なぜならば、埼玉の市町村図を見た時、何故西高東低なのか？素朴な疑問を持ったが、学習を進めると社会制度の変動がかかわっている事に気づいた。

学部の学習は学説史を読み解く事で有ると面接授業で学んだが、仮説を持つには苦勞する。法学の面接授業は教員により質が分かれる。民法学の泰斗星野英一先生の判例講読では散々絞られた。

埼玉学習センターの所属になり感じた事は、年齢により仮説を持つ学生、これから仮説を持つとする学生の行動パターンが分かれることである。この事から予想できるのはエリアスタディ〔地域学〕と哲学が弱いのではないかと思う。他のセンターでは見られない。

参考文献を読み込んで記述式に備えたが、どこまで読んで良いものか判断にまよった。心理と教育は、学校システムと心理の古典を読むが、わかりやすいもの、わかりにくいものが有った。

今後は6専攻すべて終了し、修士科目生を目指す。そして入学時の仮説にとりかかるつもりで有る。テーマは「田中正造の弁明」である。

2011年度 エッセイコンテスト受賞者

松岡 美智代 様

受賞の知らせをいただいた時は、驚き信じられない気持ちでしたが、表現したかった学問の持つ力のようなものが伝わった気がしたことは本当にうれしいことでした。また学習センターで大学に在籍する方々と交流する機会があり、仕事が忙しく苦勞して時間を確保していらっしやることや、家族が病気で介護が大変なこと、中断しても永く学んでいらっしやる話などを伺って、私も同じような状況下で時間を工面して学んでいたの、自分だけではなかったということを知ることができて、それもうれしく感じ、また心強く思いました。みなさんのお話を伺っている時も学問の持つ「見えない力」を感じました。それは時に目標を成し遂げようとする動力になったり、ものごとを引きつける磁力になったりするような気がします。この人間に与えられた生命エネルギーともいべき力を使って、私も学びを長く続け、やめずに、これからも自らをふり返りながら自分の内面の世界を広げていきたい、と思えます。



再視聴施設 について

本学学生および近隣市町村の住民の方々に、放送大学の放送授業を視聴する機会を提供するために、地方公共団体等の協力を得て、下記の3箇所を設置されています。

利用できる曜日、時間ならびに利用する際の注意点は下記のとおりです。

近隣の学生の皆さんは是非ご利用下さい。

学生以外の一般の方もご利用できます。

※ご利用にあたっては、放送大学で開設している授業科目のうち一部配架されていない科目がありますのでご注意ください。配架科目については、各校の問合先にご確認ください。



1 放送大学埼玉学習センター 秩父校

場所 : 秩父市芸術文化会館1F
住所 : 秩父市大宮794-6
問合先 : 0494-23-2294
利用時間 : 9時～17時
休館日 : 年末年始
最寄駅 : 秩父鉄道秩父駅より徒歩5分
西武鉄道西武秩父駅より徒歩20分

2 放送大学三郷校

場所 : 三郷市立瑞沼市民センター2F
住所 : 三郷市上彦名870番地
問合先 : 048-930-7759
利用時間 : 9時～21時
休館日 : 年末年始
最寄駅 : JR武蔵野線新三郷駅より徒歩15分

3 放送大学再視聴施設和光校

場所 : 和光市図書館
住所 : 和光市本町31-1
問合先 : 048-463-8723
利用時間 : 火～金 10時～20時
土、日、月、祝 10時～18時
休館日 : 年末年始、第2・4木曜日、
図書整理期間
最寄駅 : 東武東上線和光市駅より徒歩8分

4/1開校



サークル紹介

スポーツ吹矢 正鶴会 ~せいこくかい~

代表者及び連絡先

大竹紀夫 0428-31-1411

『吹き矢を楽しみ、腹式呼吸の冥利を身に付ける』

正鶴会は、スポーツ吹矢の実践を通じて心身を鍛練し、感性を磨き、友情の輪を広げることが目的に、平成22年7月に発足したサークルです。

有り体に申せば、大学生活で感じる人間交流の希薄感のようなものを、サークル活動で満たしたい気持ちが、発足を促す大きな動機となっています。

スポーツ吹矢は、極めてシンプルなスポーツです。人間の呼吸を利用して一定の距離から矢を的に当て、得点の多寡を競うという、単純と言えば単純そのものです。観ている人の視線の中には、「何が面白くて大の大人が」というような声なき声が聞こえてくることがあります。

しかし、これはスポーツ吹矢の驚くべき、卓効とも言うべき冥利が内包されていることを理解しない見方だと言えましょう。

日常普通に吹き矢をリプレイする中で、腹式呼吸法が自然に身につくとき、当人の自覚よりも遥かに大きな果報、つまり健康が備わることを知って欲しいのです。

まさに実践に如かず。われわれ正鶴会メンバー一同は、スポーツ吹矢の楽しさ、奥の深さを多くの学生が理解し、仲間として加わって下さることを願っています。

新旧



バランス体操 悠悠クラブ

代表者及び連絡先

川崎恭子 048-768-5361

『生涯現役を目指して』

日本人の平均寿命は皆様ご存知のように、女性はここ数年世界一、男性も世界3・4・5位をキープしています。しかし健康で長生きしているかといえば、必ずしもそうではありません。願わくば、最後まで自力で生活したいと誰も思っていることでしょう。この体操サークルは、そのほんの一部の担い手になればとの願いから立ち上げられ、平成23年11月に認可されました。

成人した人の体で左右対称の方はおそらくいないと言われています。バランスがくずれ、アライメント(整列、順列)がくずれてくると故障が起きてくる。それを少しでも修正すべく、又健康な肉体でいられるように、ストレッチ、氣功、ウォーキングエクササイズ、練功18法、真向法 etcを取り入れて、左右同じ動きを心掛けております。それぞれの方の身体能力にあわせて、楽しく、無理なくをモットーとしています。腹式呼吸を取り入れ、深い呼吸のもとでリラクゼーション効果も狙っています。

毎週金曜日、10:30~12:00まで、8階の講堂で気持ち良い汗を流しておりますので、気軽にお立ち寄り下さい。見学、体験はいつでも自由にできます。





～教務係からのお知らせ～



平成24年度第1学期単位認定試験について

◆大学院の試験◆

平成24年7月22日(日)・24日(火)

※本部から直接送付される受験票で、科目・日時・試験室等を確認し、同封の「単位認定試験受験に際しての注意事項」をよく読んでから受験してください。

◆学部の試験◆

平成24年7月25日(水)～8月1日(水)

※7月27日(金)及び、30日(月)を除く

※平成24年度第1学期に登録した科目と再試験科目が同一試験日・時限となる場合は、いずれか1科目を選択して受験することとなりますので、注意してください。

平成24年度第2学期科目登録について

科目登録は“システムWAKABAでのWeb”か“郵送”での登録のどちらかになります。

【申請期間】

① システムWAKABA 平成24年8月13日(月) 9:00～9月1日(土) 18:00まで
※Web登録に限り、期間中の科目の追加・削除が可能です。

② 郵送 平成24年8月13日(月)～8月31日(金) **大学本部必着**
※郵送の場合は、提出後の変更は一切できませんので注意してください。

郵送（第四種郵便）による放送教材の貸出について

埼玉学習センターでは、郵送による放送教材の貸出しを行っています。
ご希望の方は、下記の要領で手続きしてください。

対象者：埼玉学習センター所属の学生（休学中及び貸出放送教材・図書の返却が遅れている方は利用できません。）

貸出範囲：履修している科目・再試験科目 ※閉講科目は除く

（試験期間終了後から学期末までは、全ての科目を借りることができます。）

貸出本数：2本まで

貸出期間：センター発送日からセンター到着日含めて9日間

送料：往復分とも申込者（学生）の負担

申込方法：「郵送（第四種郵便）による放送教材貸出申込書」に必要事項を記入し「学生証の写し」を貼付のうえ、送付分の切手を同封し、埼玉学習センターへ送付してください。

図書室・視聴学習室からのお知らせ

◆図書室・視聴学習室ご利用の際には、**学生証を提示**してください。

◆入室の際、学習に必要なもの以外は持ち込まないでください。**鞆や飲食物の持ち込みは禁止です。**どうしても必要な場合は、カウンターでビニールの手提げ袋を貸出していますので係員に声をお掛けください。

◆貸出図書の**返却期限は必ず守ってください。**更新を希望する場合、またやむを得ず返却日に間に合わない場合などは、早めに連絡してください。
手続きがない場合、次回の貸出が一定期間出来なくなることがありますので注意してください。

◆7月22日(日)から単位認定試験が始まります。**下記の期間は貸出停止となりますので注意してください。**

【図書資料】 7月 8日(日)～8月1日(水)まで

【放送教材】 7月15日(日)～8月1日(水)まで

◆2008年度以降開講されたテレビ科目に限り、DVDによる貸出しを行っていますが、2007年度以前に開講されたテレビ科目は、今まで同様ビデオテープのみとなります。

◆放送教材・図書資料等の時間外返却用に、10F東側出入口にブックポストを設置していますのでご利用ください。利用時間は、学習センターの終了時間から翌日開室時間までの間です。
(なお、**放送教材返却の際は必ず「学習センター利用の手引き」を添付してください。**)

学生募集



●平成24年度第2学期放送大学学生募集

平成24年度第2学期教養学部「全科履修生」「選科履修生」「科目履修生」及び大学院文化科学研究科「修士選科生」「修士科目生」の学生募集を下記の日程で行います。皆さんの友人・知人にも放送大学の素晴らしさ、学ぶことの楽しさを伝え、一緒に学友になりませんか。

出願方法は、下記いずれか一つの方法でお願いします。

①インターネット出願、または ②郵送出願(本部)

【出願期間】

①インターネット出願 平成24年6月1日(金)～8月31日(金) 24時まで

②郵送出願 平成24年6月15日(金)～8月31日(金) 必着

●平成25年度修士全科生募集(大学院)

平成25年度「修士全科生」の学生募集も開始されます。

【出願期間】 平成24年8月17日(金)～8月31日(金)

※平成24年度第2学期「教養学部」、「大学院文化科学研究科」、及び平成25年度「修士全科生」募集要項の配布は6月15日からです。詳細は事務室にお問合せください。

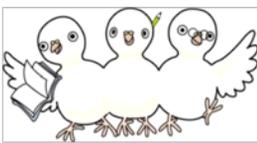


知人・友人等
をご紹介ください

知人・友人等と一緒に学びませんか？紹介いただいた方が埼玉学習センター所属で入学された場合、ご紹介者の方に薄謝を呈いたします。

詳しくは10階
窓口まで。

オースキャンパス



埼玉学習センターでは、下記の日程にて大学説明会を開催いたします。知人・友人の方等、放送大学に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら是非ご案内ください。申込は電話で受付いたします。(048-650-2611)
なお、当日直接のお越しの方も大歓迎です。

内容◆放送大学概要説明

◆卒業生体験談

◆センター見学

◆個別相談

◆面接授業見学

(※面接授業見学は、第1回及び第2回の実施となります。)

第1回	平成24年	6月	23日(土)
第2回		7月	14日(土)
第3回		8月	11日(土)
第4回		8月	19日(日)

※いずれも14:00～2時間程度を予定。

国立美術館キャンパスメンバーズ制度

2012年4月より、放送大学も同制度に加入いたしました。本学の全ての学生は学生証の提示により常設展は無料、特別展・企画展は200円程度の割引で利用できます。

対象となる美術館は、下記の5館です。

東京国立近代美術館 国立西洋美術館(東京) 国立新美術館(東京)
京都国立近代美術館 国立国際美術館(大阪)

芸術鑑賞でこころ休まる一時を・・・どうぞ有効にご活用ください。



埼玉学習センターに関する情報は、こちらでいち早くお知らせしています。是非、ご覧ください。

放送大学埼玉学習センター

検索

<http://www.sc.ouj.ac.jp/center/saitama/>

